

SPIT 'EM OUT! "It's absolutely RAW"

-This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...-

CONTENTS OF OCTOBER 2000

SPECIAL INTERVIEW
"DJ KEN-BO"
page 01

EVENTS SCHEDULE
- October to November 2000
page 02

RECOMMENDED EVENTS
- Event Information
page 03

EVENT REPORT
-'00.08.29 Super Honey Dip Last Summer Special
-'00.09.01 Daddy's House Special DJ Jazzy Joyce Japan Tour
-'00.09.15 Daddy's House Special Inter FM "DJ Masterkey Jumpin' Off Saturday" Open Live Recording
page 04

ROCK THE CITY SPECIAL REPORT
- B-Boy Park 2000
JIRUSHI ROAD
- DJ Yukijirushi
page 05

DISCS FILE
- Selected by HomeBass Records
MINAMIDAI TU-SHIN
- Minamidai
DJ HIRAGURI'S COLUMN
- DJ Hiraguri
THE SIGN OF PROOF
- Takeshi Hasegawa
page 06

SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI
- Maki the Magic
"H" PEOPLES
- Snap Pics in Sep. 2000 -
STAFF STAFF STAFF
MO' INFO
page 07

COMPLETE THE GUNTEZ RECORDS
GUNCO-013
KEEP YO' EYEZ ON DJ MASTERKEY
page 08

Special Interview DJ KEN-BO

ナチュラルマイペース、これがDJ KEN-BOの最大の魅力であろう。精力的に地方営業をこなしつつも毎月第一第三金曜日、DADDY'S HOUSEのレギュラーDJであるDJ KEN-BOが自身の、そしてHIP HOPの「今」と「未来」を率直に語ってくれた。

●DJを始めたきっかけは？

音楽がもともと好きで、YUTAKAさんがすごい昔、渋谷で回ってた頃にFM横浜で番組をやっていて、MIX SHOWを聞いて、音楽をMIXして新たな世界を作るってすごいなあと思って、小学校4年生くらいから既に志していました。それで中1位から貸しレコード屋に入りに入っていて、そこにターンテーブル置いてあったので、テープ作ったりとかして。最初はMIX TAPE作りごっこかMIXごっこかしてて、クロスフェーダーないミキサーで遊んでいたのがきっかけですね。YUTAKAさんがやってるのを見て俺もやりたいと思ったのでYUTAKAさんと今対等に(DJという事で)話せたりするのはすごい幸せですね。

●DJに向いてるなあと思う点は？

たぶん気が利くからだと思います、それなりに。人の流れ読んだりとか人のノリ読んだりとかそういうバイブスみたいなものをピックアップ出来るのが大事だと思うので、そういう部分が他の人よりも優れているからいいのではないかと思います。釣りとかしている時も、場所によっていろいろ変えなければいけなかったりするんで、そういうのとDJは似てますよね、すごく。お客さんのパターンとか読んだりとか。でも基本的にはフリースタイルって感じですね。あと人を喜ばせるのがすごい好きで、人が楽しい顔してるの見るのが好きだから、そういう雰囲気を作るって事が好きなんです。だからもともと性格的にDJ向きだったと思います。

●先日行われたB-BOY PARK2000ではMC BATTLEのDJやパネルディスカッションに参加されてましたが、今年のB-BOY PARKはいかがでしたか？

普段は俺はあまりそういうの言わないけど、やっぱり自分でもHIP HOPに対する考え方は、いろいろしゃべってる人達に比べても負けたくないって持ってるので、別にあえてこうしたらいいとは言わないけど、自分が協力出来る範囲ではこれからも100%協力したいと思っています。今年はアイデア出したりとか、そういう部分まであんまり関われなかったけど、まあいろいろ良かった部分もあると同時に足りなかった部分もあったと思うし。でもとりあえず大成功で終わって良かったんじゃないでしょうか、みんなの涙も見たし(笑)。

●DADDY'S HOUSEのレギュラーDJとして感じることは？

いい意味で客層が変わってきてくれたという所が良かったなって思う。個人的にも今までそんなに週末レギュラーがなかったし、去年は意識しているんなら地方に行くようにして、2000年は東京中心で考えてたから、その中でDADDY'S HOUSEの話があったので自分としてもすごくいいタイミングでした。自分的にも張りのある現場だと思うし、お客さんの一番回してじっくりくる。地方もいっぱい行くけど、東京はお客さんとセットみたいな所があって、DJだけしている曲をかけても、回りがどういって盛り上がるかわからないと、初めて聴く曲とかは盛り上がれなかったりする訳で、でもみんな盛り上がる中に入れば、ああこういう曲がすごい盛り上がっているんだなって知れるし、ああこうなんだってわかるし。だから地方に行ったKEN-BOがやる事と、東京にいるKEN-BOがやる

事は基本的には同じなんですけど、HARLEMで聴くKEN-BOの方が余計よく聴こえたりすると思うし、地方に営業にくるDJを見ただけでその人がどれくらいなのかって判断しない方がいいんじゃないかなって思います。

●最近のクラブシーンの盛り上がり方はどう思われますか？

HIP HOPという部分だけにしか言えないと思うんですが、やっぱり東京はHARLEMを中心に周辺のいるんなら小箱もありつつ、全体的に人が入るようになってると思います。後はやっぱり地方はまだ弱い気がするよ。改めて今年地方に行ってるのは、それはいつも言っている事なんだけど、地方のDJの人達ががんばらないとダメだと思うし、守りに入ってクラシックなどに逃げないで、新譜にもどんどん挑戦するべき。そういうので盛り上がってる現状もあるし、成せばなる訳なのだがんばってほしい。東京にいるヤツが地方のクラブ行って、「なんかつまんないよね」って思っちゃわないようにしておいて欲しいなって思う。HOUSEとかってそんなにそこまで差がないと思うんだけどね。レゲエとか大阪が盛んだしさ。それぞれの地方でそのシーンを中心とする人がいつ、発展させていって欲しい。大阪に関してはある程度出来上がってるのでそんなに心配じゃないんだけど、まだあんまりガッツリしてない所もあるから、例えば日本語ラップ好きなヤツだとダンスがあんまり溶け込んでなかったり、レゲエとHIP HOPがあんまり溶け込んでなかったり、そういう部分を一つにしていくことが大事で、そうすることがお互いのシーンの発展になるし、レゲエだったりHIP HOPもダンスもMCもみんな変わってくるし、そうやって東京のシーンは大きくなっていく部分があると思うので、地方の人たちはそういう部分を見て欲しいと思う。

●最近の制作は？

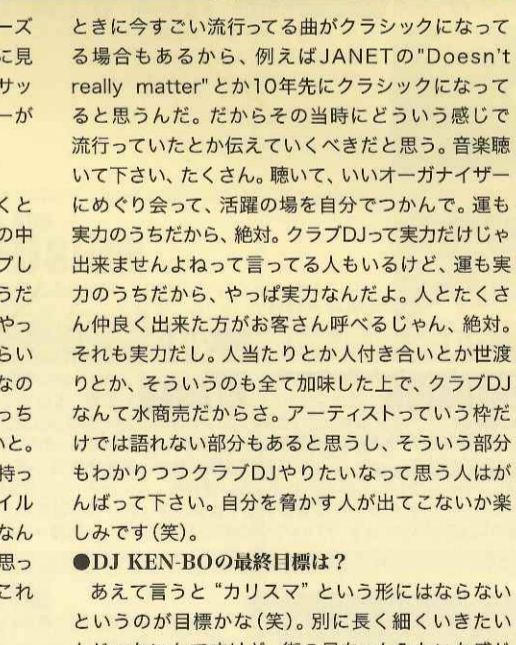
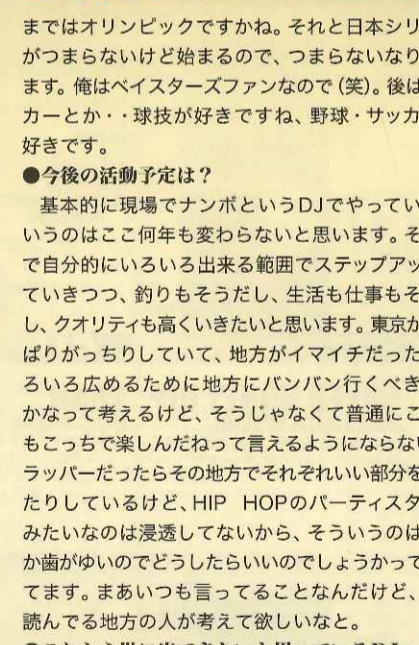
制作の方はあんまりやってない、というのはやっぱり営業が多すぎて手つけられてないという。でもいくつか話があるのもあるので、そういうのは遊びながらやっていきたいと思っています。あとMIX CDを出します。ちょっと遅れているんですけど、レゲエのヤツで一個と、あとはDEF JAM物もやります。まあこれも仮決なんですけど。いろいろそういうMIX CDの制作をやる予定です。

●制作をする際に特に気をつけている事は？

基本的に現場でかけられる曲・っていう訳でもないんだけど、現場でやってる人だから作れる音っていうのは作って行きたいなって思う。まあビートにする、のれるっていう曲にしたいというのは思ってる。もちろんそのMIX CDもフロアの方で。

●プライベートの過ごし方は？

忙しい中にも釣りでね。確実に日々の生活に盛り込みつつ、沖縄でも海でゆったりしてるし、合間をぬって琵琶湖に行ったりしたし、そういうことは出来る範囲で、自分の体に影響ないように。釣り以外ではドラクエ(笑)。今はメモリアリーフの先の修道院。レベル15位。石板が1枚見つからなくて困ってます(笑)。この号が出る頃にはもっと進んでる予定。あとは競馬。競馬はハマってるというよりは趣味みたいな感じ。MAKI君とウーロンハイ飲みながら1時間くらいしゃべったりとか。後は基本的にスポーツ観戦が好きなのでこの号が出る頃



●今後の活動予定は？

基本的には現場でナンボというDJでやっていくというのはここ何年も変わらないと思います。その中で自分的にいろいろ出来る範囲でステップアップしていきつつ、釣りもそうだし、生活も仕事もそうだし、クオリティも高くいきたいです。東京がやっぱりがっかりしてて、地方がイマイチだったらいる広めるために地方にバンバン行くべきかなって考えるけど、そうじゃなく普通にこっちもこっちで楽しんだって言えるようにならないと。ラッパーだったらその地方でそれぞれいい部分を持ってたりしているけど、HIP HOPのパーティスタイルみたいなのは浸透してないから、そういうのはなんか歯がゆいのでどうしたらいいのしょうかって思ってます。まあいつも言っていることなんですけど、これ読んでる地方の人が考えて欲しいなと。

●これから世に出てきたいと思っているDJへ

デモテープというよりもクラブでばんばん回して、なるべく名前をいっぱい見てもらって知ってもらって、それなりに有名なオーガナイザーの人とかいるから、そういう人たちとうまく癒着して、いろいろ回させてもらって、名を売って評判になると、もっと大きいパーティのオーガナイザーからも声がかかる。とにかく人の前で回して場数ふんで、その中でいるんなら状況にぶち当たる時に、そこで自分がどれだけ引き出しもってるかっていうのが勝負だから。俺はその引き出しが人よりも多いから5時間余裕で回してるし、その引き出し全部いっぱいいっぱいやるんじゃないって、余裕を持たせつつ、たまには引き出しの中身の模様替えもするし。とにかくその前に音楽聴くことかな、とりあえず。新譜聴くのも当たり前だし、古いの聴くのもある意味当たり前だし、音楽はやっぱり聴くべきだと思ってる。新譜は絶対大事で、古いのばかり凝るのもいいけど自分がこの世界で10年先とかまでやった

●DJ KEN-BOの最終目標は？

あえて言うところ「カリスマ」という形にはならないというのが目標かな(笑)。別に長く細くいきたいんじゃないんですけど、街の兄ちゃんみたいな感じでいたいな、と。普通に競馬もするし釣りもするし、電車も乗るし、でもクラブDJでプロデュースもして、出すものもちゃんと評価されてる、みたいな。そうでありつつ自分はカリスマではない、それがいい。別になんか上昇志向が無いわけではないんですけど、自分が気持ちいいの一番いいのマイペースで。他人がどんどん先に行こうとしてもそれが仲間であるうと関係なく、自分は自分というところでずっといたいと思ってます。今までそういう形にしている今の自分があるので、それはあえて変える必要はないと思う。それで実際自分が好きな釣りでスポンサーももらえて、番組まで持って、マイペースでやってこれだからね。結果なんてついてくるものだから、それも絶対実力のうちだし、実力はスキルだけでなく、その他の自分の精神面だったりとか回りの環境だったりとかそういう全てが重なった上で本当の実力という。それをうまく活かした人が多分今もトップの方にたってる人だと思っしね。